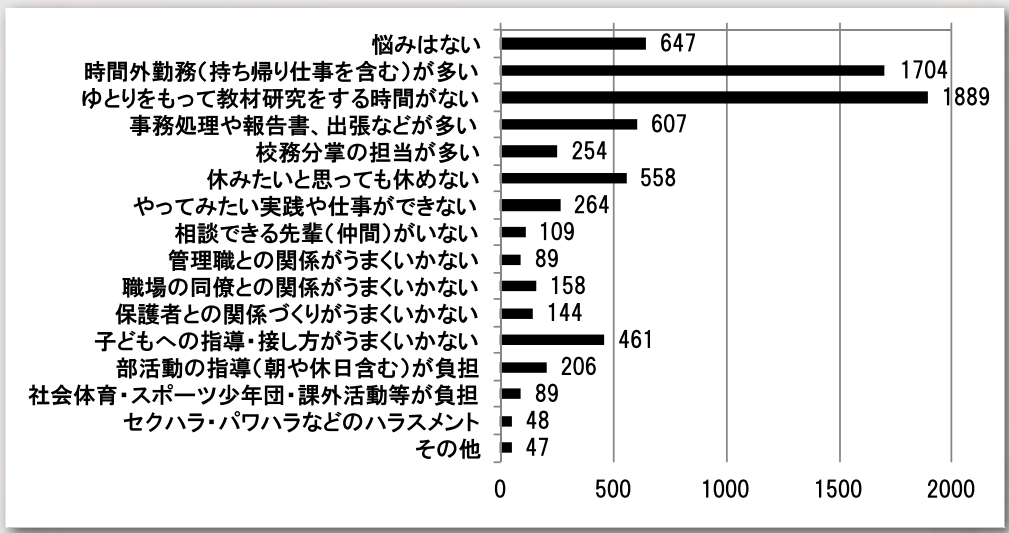


いま、あなたの仕事上の悩みはどんなことですか？(複数回答可)



兵教組青年部は、9月に実施した「生活・職場実態アンケート」の結果をまとめ、10月17日に開催した第42回青年部労働学校で報告した。このアンケートは、対県確定闘争の青年部要請行動等で、県教委に学校現場の厳しい現状や教職員がいきいきと働ける職場づくりをめざした声を届けるため、毎年実施している。3518人から得た回答の一部を掲載する。

校種	幼稚園	小学校	中学校	中等教育	特支・養護
	0.5	73.8	23.7	0.1	1.9
職種	教員	養護	事務	栄養	
	92.0	3.4	3.3	1.3	
勤務形態	正採	常勤	非常勤		
	82.5	15.4	2.1		

2015兵教組青年部生活・職場実態アンケート調査



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 泉 雄一郎
編集人 森戸卓也
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

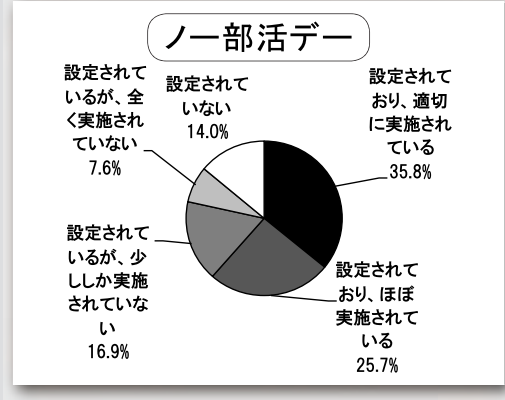
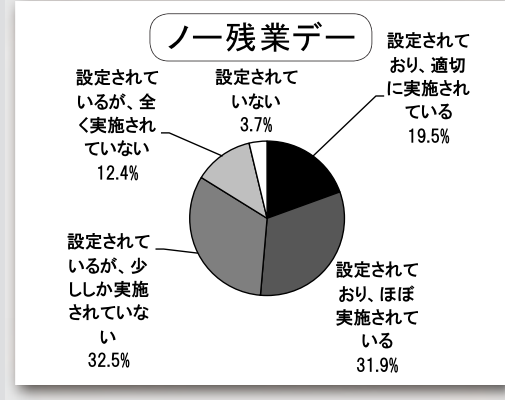
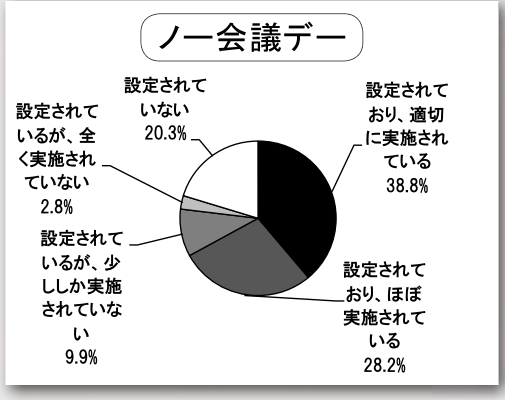
2015/11・1

No. 1893

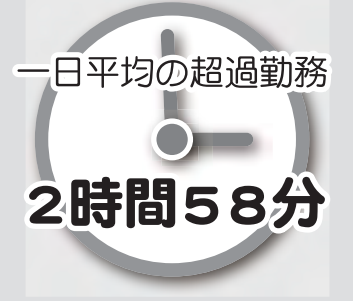
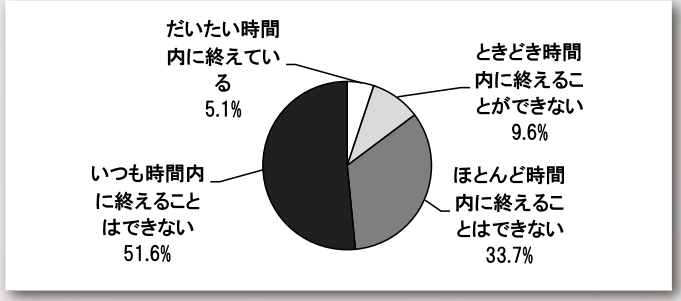
2面

・日教組平和集会in福島
・人権教育ひょうご
・in岡山

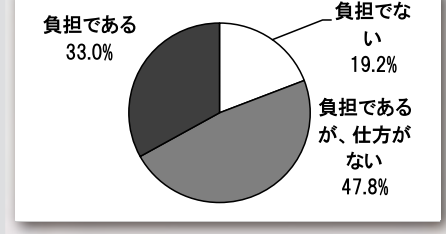
09年度から週1回の「ノー会議デー」「ノー残業デー」、平日は週1回・土日は月2回の「ノー部活デー」が各学校で設定されましたが、あなたの学校では、それらは適切に実施されていますか？



あなたは、仕事を勤務時間内に終わることができていますか？



中学校の部活や小学校の社会体育・スポーツ少年団等は、教職員にとって、負担であると思いますか？

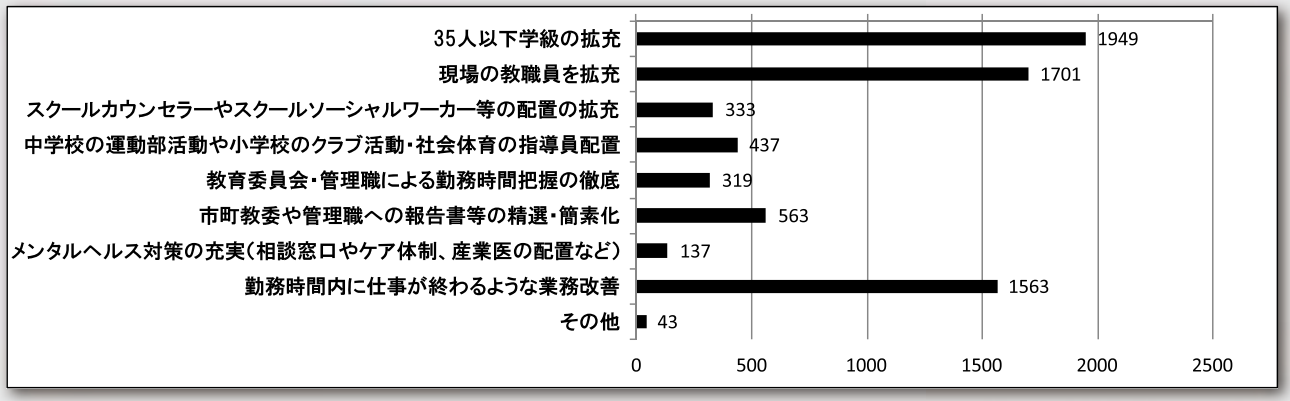


アンケートの結果から、今の青年部の実態が浮き彫りとなった。中学校の部活や小学校の社会体育・スポーツ少年団等を「負担である」「負担であるが仕方がない」と答えた人が81%もいた。部活動や社会体育などが青年層にとって大きな負担となっている。ボランティアや休日出勤などで時間的にも金銭的に

居場所がある職場
働きやすい職場
やりがいのある職場

の実現にむけ、主体的に行動を！

わたしたち青年教職員がいきいきと働き続けられる職場であるために、どのようなことが必要だと思いますか？(複数回答可)



忘・新年会はラッセホールの
お鍋でほっこり!

鍋まひ

予約制
2日前までに
ご予約ください。

美味しー

※写真は豆乳鍋です。

2015年12月1日(火)~2016年2月29日(月)

ランチ 11:00~14:00 **ディナー** 17:00~21:00

※ランチは2名様以上、ディナーは5名様以上からとなります。
※日・祝の営業は18:00までとなります。但し、団体様のご利用についてはご相談ください。
※年末・年始(12月29日~1月6日)のご利用は事前にご予約ください。

前売りチケット

お一人様(税込)

¥3,500

「教育ひょうごを見た」で
前売りチケット価格に!

★前売りチケットはレストラン又はフロントで
ご購入ください。
★チケットはレストランで金券としてもご利用
頂けます。(有効期間 2016年2月29日迄)

フリードリンク(2時間制)

ビール、焼酎、ウイスキー、
ハイボール、酎ハイ、梅酒、
日本酒、マッコリ、ジュース、
ウーロン茶、カクテル数種

お一人様

¥1,500 (税込)

※レストラン個室・宴会場の場合は、
ビール・焼酎・ウイスキー・ジュース・
ウーロン茶のみとなります。

特典

①女性限定特典
4名様以上のご利用で好きなドリンク1杯またはデザートを無料プレゼント!(レストランのみ)

②前売チケットご購入で個室利用頂けます。
レストラン個室は5名様以上
(ご予約先着順)
宴会場は20名様以上(ご予約先着順)

予約制

鉄板焼き 特別メニュー ¥10,000 (税込)

・旬のオードブル ・本日のスープ ・季節のサラダ
・オマール海老と活帆立 ・焼き野菜
・黒毛和牛コース150g又はヘル120g
・ガーリックライス、香の物 ・実物とシャベット ・コーヒー

12月22日(火)~12月26日(土)のクリスマス期間中は、
スパークリングワイン(1本)をプレゼント!

予約問合せ レストランリビエラ ☎078-291-1311

お問合せ時間 / 10:00~18:00

ラッセホール
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
TEL.078-291-1117(代表)
FAX.078-291-0333
http://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com

●JR、阪神元町駅より徒歩5分
●JR、阪急、阪神、地下鉄三宮駅より徒歩15分
●山陽新幹線神戸駅より徒歩5分

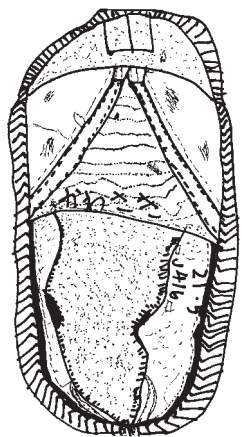


柵の向こう側は、日中も立ち入り禁止の「帰還困難区域」。

さわやかな秋晴れの中、スタディツアーに参加した。1日目は、洪染一揆資料館を中心に、一揆の発端場所の常福寺から、強訴に向かう集結の地・八日市河原までをめぐる旅であった。一揆が、いかに労力のある闘いであったかが実感

できた。また一揆を成功させるために、多くの被差別部落のネットワークがあったことや「屑者重宝記」(一揆当時の事実経過を記録した文書)などにみる識字力の高さが背景にあったことを学んだ。また、多くの人の知恵を集め強訴文書を作成したこと、いろいろな情報から強訴相手の的確に選んだことなど、一揆を成功させた被差別部落の人々の粘り強さ、調整力、団結力に私は勇気づけられる思い

がした。2日目は、長島愛生園を訪ねた。ここはハンセン病で隔離され、病気は完全に治っているが、今なお残る偏見や差別のために、故郷に帰れない人たちが生活されている場所である。愛生歴史館で、ハンセン病の隔離の歴史や概要を学んだ後、島内をフィールドワークし、ここで生活する元患者の方からお話をうかがった。



(こ)もの詩と絵 第35集より

「上ぐつ」

姫路市高浜小学校
二年 川崎 彩音

交通災害共済の3つの補償

国内外OK

1. 交通災害補償

交通事故によるケガを補償

交通機関によって生じた事故や校舎内廊下での不慮の事故等により死傷した場合補償します。

国内外OK

2. 一般傷害補償

ほとんどすべての傷害事故*によるケガを補償

スポーツ中や日常生活での事故により死傷した場合補償します。 ※急激、偶然、外来の事故

国内のみ

3. 個人賠償責任補償

他人にケガを負わせたり他人の財物を壊したりして法律上の賠償責任*を負った場合 最高 1,000万円まで補償

※車両(自転車は除きます)の所有・使用・管理に起因する損害賠償、職務遂行に直接起因する損害賠償は補償の対象となりません。

個人賠償責任補償は、組合員ご本人がご契約されれば、ご家族全員(契約者または配偶者と生計を共にする、同居の親族・別居の未婚の子を含みます)が補償されます



教職員共済

資料請求
お問い合わせ ▶

教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通

4丁目 10-8

ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730

FAX (078) 221-1199

承 11-56-10(1203)

・個人型(1口~10口)と家族型(1口または2口)どちらかを選択できます(家族型はご家族全員が補償対象となります)

・この共済は教職員共済の「交通災害共済」と、損害保険会社の「普通傷害保険」「家族傷害保険」を組み合わせたものです。

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。

4年半が経った被災地の現実

日教組平和集会在10月3日から2日間、福島県郡山市で開催された。兵教組からの参加者2人を含む、約150人が全国から参加した。

21世紀を「平和・共生の世紀」と位置付け、憲法の理念を実現し、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもと、平和運動・平和教育の基軸となる運動のとりくみをすすめるためのもので、今回が26回目の開催となった。

1日目に全体会と分科会、2日目は東日本大震災の被災地を歩くフィールドワークがおこなわれた。

集会に参加した兵庫教育文化研究所の大野圭一事務局次長の報告を掲載する。

日教組平和集会in福島

難区域」に指定されている浪江町の馬場町長から特別報告を受けた。「浪江町に限らず、原発による被災地で徐々に学校が再開しているという報道がされている。それ自体は明るいニュースに聞こえる。しかし、それは元の場所ではなく、安全な地域に仮に設置された学校であり、子どもたちも被災前の10%程度しか帰ってきていないのが現状である。その事実はどこまで伝わっているのか。子どもがいけない町は本当につらい」と声を詰まらせながら話されたのが大変印象的であった。続いて福島県教組から現地報告があり、

その後、分科会が開催され、各県からのリポートをもとに学ぶことができた。

2日目は、南北の2コースにわかれてフィールドワークがおこなわれた。北は飯館村・浪江町を中心としたコースで、南は楢葉町・富岡町を中心としたコースであった。私は南コースに参加した。

最も衝撃的だったのは、富岡駅跡周辺の様子である。津波で流された自動車や崩壊した家屋がそのままの状態に残されていた。すぐそばの小学校・中学校の運動場は、背の高い雑草に覆われていた。田畑には、雑草だけでなく、低木が生



えているところもあった。確かに除染作業がすすみ、復興されつつある地域もあるが、この一帯はそれとはほど遠く、4年半前から時間が止まったままだようだった。震災に関する報道の量も減り、時折報道されても復興に関する前向きなものが多かったこともあって、なんとなく復興がすすんでいるように思ってしまう。その「なんとなく」が怖いのだ。現実を知ると、そのようにしても思えない。「このまま風化させてはいけない」と言われる意味がよくわかった。

今回、南コースで訪問したのは、日中は自由に行き来できるが、夕方以降は区域外に出なければならぬ「居住制限区域」が主であったが、立ち入り自体が制限されている「帰還困難区域」との境界を歩く機会があった。その際、案内してくれていた福島県教組の

大野圭一
兵庫教育文化研究所
事務局次長

2日間の集会の中で、何度も「このまま風化させ

1日目の全体会では、今も町の大部分が「帰還困

てはいけない」「福島のことを伝えてください」という話を聞いた。以下の報告で、少しでも福島の実状と福島のみなさんの思いをお伝えできればと思う。

人権教育ひょうごでスタディツアーin岡山

10月24日から2日間、人権教育ひょうご主催で「スタディツアーin岡山」が開催され、兵教組からは15人が参加した。洪染一揆資料館や、長島愛生園の見学、フィールドワーク等をおこなった。

ツアーに参加した兵庫教育文化研究所の小原武次郎副所長の報告を掲載する。

改めて知る 人々の団結力

小原武次郎
兵庫教育文化研究所
副所長

できた。また一揆を成功させるために、多くの被差別部落のネットワークがあったことや「屑者重宝記」(一揆当時の事実経過を記録した文書)などにみる識字力の高さが背景にあったことを学んだ。また、多くの人の知恵を集め強訴文書を作成したこと、いろいろな情報から強訴相手の的確に選んだことなど、一揆を成功させた被差別部落の人々の粘り強さ、調整力、団結力に私は勇気づけられる思い

がした。2日目は、長島愛生園を訪ねた。ここはハンセン病で隔離され、病気は完全に治っているが、今なお残る偏見や差別のために、故郷に帰れない人たちが生活されている場所である。愛生歴史館で、ハンセン病の隔離の歴史や概要を学んだ後、島内をフィールドワークし、ここで生活する元患者の方からお話をうかがった。



洪染一揆資料館を見学する参加者

た。ハンセン病元患者の運動が、ライ予防法を廃止に追い込み、国家賠償を認めさせるなど、長い闘いを続けてこられたことを知った。また、人々がハンセン病に対して無知・無関心であったことが、闘いを長引かせ、患者の社会復帰を遅らせたことを知り、あらためてハンセン病に対する差別・偏見に向き合っただけでなく、自分自身を問いただすこととなった。特に「納骨堂」での「もういいかい、



長島愛生園内にある納骨堂

骨になっても、まあだだよというガイドの問いかけは胸にずしんとした。2日間、差別と人権に向き合う時間をもらえてありがたかった。